大原　寛史　　先生

先生のプロフィール	
【出身地】 千葉生まれの三重育ち 【専攻】 民法 【近年(2~3 年)の担当科目】 債権法総論、契約法 A、外書講読（ドイツ語） 各学年配当の演習科目 【コロナ後に行きたい場所】 北陸、北海道（魚介がおいしいから）	大原ゼミ

＜大原先生に直撃インタビュー！＞

Chapter1～先生の専門科目について～

学生：大原先生は民法を専門としており、その中でも「契約法における『自律』と『他律』」について研究をされているとのことですが、民法の魅力とはどういった点にあるのでしょうか？また、研究の具体的な内容について教えていただけますか？

先生：まず民法の魅力からですね。民法は、市民どうしの関係を規定しています。市民どうしのトラブルには、「どちらが正しい/間違っている」という類のものよりも「どちらが正しい/間違ってはいないものを、どのように調整するか」という類のものが多いと思います。まさにその調整の理論と結論の妥当性を追い求めるところが、とても奥深いと感じます。次に研究内容についてです。民法では、契約は原則として「自由」となっています。相手も、内容も、方式も原則として当事者が「自由」に決めることができます（＝自律）。もっとも、場面によっては「自由」とはならず、結局他者の定めたルールに従わなければならないことがあります（＝他律）。その各場面をどのように理論的に正当化するのかを研究しています。

学生：ありがとうございます。先生はどうして民法を専門にしようと決められたのですか？

先生：民法が一番よくわからなかったからです。「このままではアカンのちゃうやろか……」と不安を感じ、民法を中心に勉強し始めたところ、少しだけ理解でき（たような気がし）たため、もう少し勉強してみたいと思ったことがきっかけです。

学生：一番苦手だったんですか！？たしかに、わからなかったことがわかるようになると、なんだか楽しくなってきますよね・・・

Chapter2～大原ゼミについて～

学生：大原ゼミは、何よりも活動内容を自分たちで決める点に特徴があると考えています。ここまで自由度の高いゼミは他にないような気がしますが、このような方式を採られているのはなぜでしょうか？

先生：自分たちで考えて行動してほしいから、そして、やらされることよりも自分たちでやることの方が大事だと考えているから、この 2 点に尽きます。せっかくの大学生活ですから、自分たちで学んでほしいと考えています。

学生：ゼミ生の自主性を、先生はとても重要視されているのですね。そんな大原ゼミでは、過去に様々な活動アイデアが出てきたと思うのですが、特に面白いと思ったものは何ですか？

先生：法学部で学んだ知識、理解、分析方法を用いて、法学に限らず自分の興味のあるテーマを徹底的にマニアックに分析し、徹底的にわかりやすく他者にプレゼンしてみようグランプリです。

学生：とっても面白そうですね！いつかやってみたいです。

Chapter3～大原先生の学生時代に迫る～

学生：先生は学生時代どのようにして過ごされていましたか。またその中で後悔したことや失敗したと感じたことはありますか？

先生：目の前にあることにとりあえずがむしゃらに取り組んでいたと思いますが、もう少し落ち着いていろんなことを考えながら取り組めばよかった……と後悔しています。

学生：何事も「考える」ことは大事ですからね……。自分も同じ後悔をしているところです。では、もし先生が来年大学１年生からやり直せるとしたら、そこからの大学生活をどのように過ごしたいと考えますか？

先生：今の時代だからこそできる方法で、勉強も遊びもとことんやってみたいですね。遊んでばっかりになりそうですが……。

Chapter4～最後に～

学生：最後に、新入生の皆さんに向けて「大学生のうちにこれだけはやっておいてほしいこと」があればお聞かせ下さい。

先生：「これだけ」というものはありません。ただ、どんなことにもいろいろ考え、悩みながら、一生懸命取り組んでほしいと思います。

学生：本日はどうもありがとうございました。

★　アドバンスト　大原　ゼミの実態！（2022 年度ゼミ生 20 名）

★　大原寛史　先生のトリセツ

とても寛容な先生です。人の意見を否定せず、何でも言える雰囲気を作ってくださいます。

「静観」ではなく「行動」を
「沈黙」ではなく「発言」を
「説得」ではなく「共感」を　がモットーです。

日々や休暇中の課題

【日々の準備、課題】
・皆で決めた活動の内容に応じて変わります（例えば事例検討だったら事例問題の解法を考える、ディベートや模擬裁判だったらそれぞれの立場ごとに主張及び反論を考えておく等）

【長期休暇課題（夏期）】
・提出は求められませんでしたが、「進路実現に向けた対策」と「次年度のゼミ希望の検討」が宿題として出されました。

ゼミの特徴

・大原ゼミは、大半のゼミとは異なり、いつどんな活動を行うかはほぼ学生の手に委ねられるため、自主性が強く求められます。逆を言えば、自分のやりたい活動をどんどん提案して実行に移すことができるため、大変自由度が高いです。

・男女比は 4：16 で、女性が圧倒的に多かったです。ですが男女関係なく皆仲良しで、学生主導で食事会を開催したり、グリーンエリアで遊んだりもしました。